

和歌山県田辺湾に出現した大形のユウレイクラゲ (刺胞動物門, 鉢虫綱)

久保田 信*・森 義 純**・田名瀬 英 朋*

Shin KUBOTA, Yoshizumi MORI and Hidetomo TANASE: Large specimen of *Cyanea nozakii* (Cnidaria, Scyphozoa) appeared in Tanabe Bay, Wakayama Prefecture, Japan

瀬戸内海に多産するユウレイクラゲ *Cyanea nozakii* KISHINOUE は、傘径 10-30 cm 程度の乳白色の鉢クラゲ類の一種である (山路, 1972; 久保田, 1992)。YAMAZI (1958) によると、本種は和歌山県田辺湾では冬季に稀にしか出現しないとされている。ところが、本年夏季に田辺湾で本種の 3 個体を確認し、しかもその内の 1 個体は大形であった (紀伊民報, 2000)。本報告ではこれら 3 個体のユウレイクラゲの出現について記録する。

発見日 (2000年)	発見場所	傘径 (cm)	注記
8月2日	江津良沖 水深 0.5 m	28	京都大学 白浜水族館展示 (石谷氏採集)
7月15日	瀬戸臨海実験所 北浜船着き場東側 水深 1 m	約15	衰弱し体縮開始中。 海底に沈み口腕部を 上方に向ける (久保 田観察・採集)
7月13日	田辺湾口 フカバエ 水深 3-4 m	約40	図1 (森観察・撮影)

考 察

田辺湾で冬季に稀に見られるとされるユウレイクラゲが本年夏季に出現したのは特記すべき現象である。しかも 1 個体は本種としては最大 (傘径 50 cm) に近いサイズ (内田, 1971参照) まで成長していることも注目される。これまで田名瀬らの京都大学瀬戸臨海実験所職員は、冬季に限らず他の季節にも散発的に田辺湾に出現するのを確認している (太田, 興田, 樫山, 田名瀬, 津越, 山本, 山本, 私信)。また、県下の串本町沿岸で、辰喜 (1976) はユウレイクラゲの多発を春季に観察している。本種は

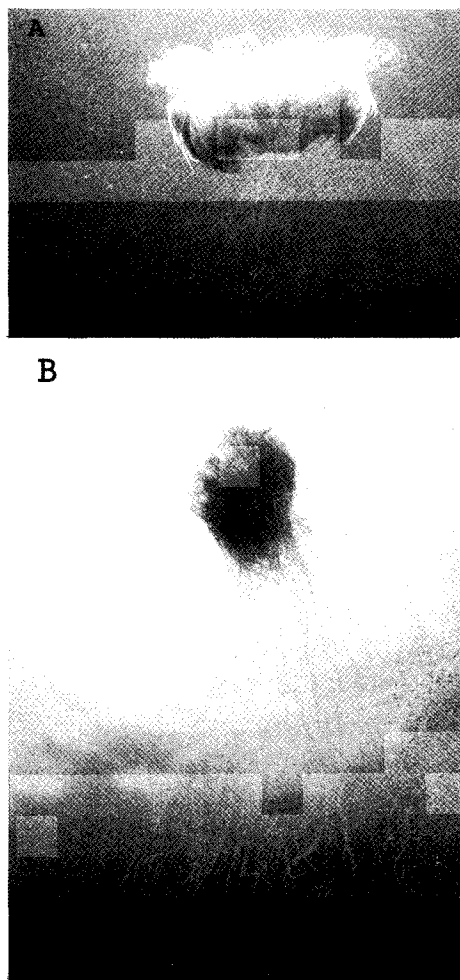


図1 和歌山県田辺湾口に出現した大形のユウレイクラゲ。側面 (A) と反口側 (B) より撮影。

Fig. 1. Large specimen of *Cyanea nozakii* appeared in Tanabe Bay, Wakayama (A: side view, B: aboral view).

* 京都大学大学院理学研究科附属瀬戸臨海実験所 (〒649-2211 和歌山県西牟婁郡白浜町) Seto Marine Biological Laboratory, Graduate School of Science, Kyoto University, Shirahama, Nishimuro, Wakayama 649-2211, Japan

** 紀伊民報社 (〒646-8660 和歌山県西牟婁郡田辺市秋津町900) Kii-Minpou, Ltd., Akitsu 100, Tanabe, Nishimuro, Wakayama 646-8660, Japan

瀬戸内海や紀伊水道では夏季に多産する（山路, 1972）ので、本年夏季に発見された個体の中にはそのような生息場所から沿岸流などに乗って流されてきたものが含まれている可能性がある。

謝 辞

ユウレイクラゲを採集して下さった近畿大学水産研究所白浜実験場の石谷 大氏に感謝致します。また、ユウレイクラゲの田辺湾での出現の情報をご教示下さった京都大学瀬戸臨海実験所職員の太田 満, 興田喜久男, 檜山嘉郎, 津越健一, 山本善万, 山本泰司らの諸氏に感謝致します。

引 用 文 献

- 紀伊民報. 2000: 大きなユウレイクラゲ. 平成12年8月23日付け第17295号1面.
- 久保田 信. 1992: ユウレイクラゲ. *in* 西村三郎編著, 原色検索日本海岸動物図鑑 [I] (初版). pp. 64-

65, pl. 11, 図8, 保育社, 大阪.

辰喜 洸. 1976: ユウレイクラゲの多発. マリンベビロン, 5(3), 15.

内田 亨. 1971: 新日本動物図鑑 [上], 3版. p. 236, 図240, 北隆館, 東京.

YAMAZI, I. 1958: Preliminary check-list of plankton organisms found in Tanabe Bay and its environs. *Publ. Seto Mar. Biol. Lab.*, 7(1), 111-163.

山路 勇. 1972: ユウレイクラゲ. *in* 日本海洋プランクトン図鑑 (6刷), p. 167, 図版78, 図2, 保育社, 大阪.

追 記

2000年9月7日に田名瀬により2個体のユウレイクラゲが田辺湾口で発見された。傘径22 cmの個体は、番所崎灯台直下の海岸を漂流中で、傘径20 cmの個体は、左記の地点の砂浜に打ち上げられており、半乾燥状態であった。